

波紋

Ripple

2014年  
3月

創刊  
1985年（昭和60年）7月

No. 345号

# 体験学習



そろそろ桜の開花時期が近づいてきました。東海地方では予想開花日が3月27日ごろで開花の傾向としては平年並みだと言われているようでお花見が待ち遠しいこのごろです。

さて、弊社では毎年中学生の体験学習を受け入れています。今年も名古屋市立の中学校より3名が体験学習に来てくれました。三日間現場で体験したことや経験したことをこれからの人生で活かしてくれたらと思います。

波紋委員一同

マラソンフェスティバル

ナゴヤ参加します

社長 森 直樹



毎年3月はマラソンフェスティバルナゴヤの月です。以前11月に名古屋シティマラソンとして行われていたのですが、3月開催の名古屋女子国際マラソンと統合されマラソンフェスティバルとなりました。今年も女子フルマラソン、ハーフマラソン、その他全カテゴリーで参加者33,000人を迎える規模となっております。私は森松メンバーの数名と参加し、うち私を含む2名がハーフマラソンを走ります。実は4年ほど前にこのレースに参加した経験があるので、オーバードペースのため16キロ地点足が動かなくなりリタイア、という苦い思い出のこのレース。その後2度のハーフマラソン完走を経験したので今度こそは気持ちよくゴールしたいところです。

昔から長距離を走っていると、膝や足首といった関節の痛みが出るのが多々ありました。単純に考えてみると人は走るときに片足に体重の3倍の負荷がかかるそうです。私の場合体重70キロなので3倍で210キロ。そしてハーフマラソンを単純に20kmとして、歩幅を1mとすると20,000歩。片足に210キロの衝撃が10,000回ずつ加えられるという恐ろしい数字がはじき出されます。色々と調べた結果、やはり走り方にも技術があることがわかってきます。上下動の少ない、ブレのないフォームを意識して走ること、また細かい歩幅で走ること、負担が抑えられる（はず）と考えつつ走っております。一步一步確実な姿勢で進むこと、また自分の走れるペースを守り早すぎず、遅すぎず走り切ること。この積み重ねでゴールに近づくのは何事にも通じるところですね。心身ともに健康で日々過ごしていくためにも、適度な運動は習慣として続けていきます。

# ソチオリンピックピツク開催

吉岡 孝記（営業部）



2月7日ソチ冬季オリンピックピツクが開催されました。過去最多の87カ国地域が参加し史上最大の5億ドル（日本円で5兆円）を投じたロシアの威信をかけた大会とも言っても過言ではないように思います。2008年の夏季モスクワ大会は残念ながら日本を含めた西側諸国のボイコットした寂しいオリンピックと必死に練習した4年に1度のオリンピックに出場するために不幸な出来事でも思い出しませんでした。今回はテロの問題や、人権問題の影響で欧米主要国の首脳が欠席するということがあります。政治とスポーツは分けて考えて欲しいです。またスポーツを利用する分けるような行為も止めたいですね。またスポーツを利用して今私のような年齢で7度目の日本選手はジャンプの葛西選手です。41歳の年齢で7度目の快挙を成し遂げました。想像するだけで努力したのかと想像するだけでも頭が下がります。是非とも悔いのないジャ



ンプを欲しと思いませんか？  
す。是非とも悔いのないジャ  
る。選手のプレッシャーとは  
どんなものか想像もできま  
せんが、自分を信じてかん  
ばつてほしいなと思えます。  
がんばれば日本！がんばれば日

# 生き物に学ぶ

安井 浩二（企画営業部）



バイオミミクリーって、聞いたことありますか？動物の能力や自然現象からヒントを得て、創り出された技術やデザインのこと。生物模倣技術（バイオミメティクス）とも言われます。ある番組で生物模倣について紹介されており「へえ〜」と思いついて調べてみました。なかなか面白い。代表されるのは「マジックテープ」これは草むらなどで衣服にくっつく「ごぼうの実」（ひつつき虫）をヒントに作られました。他には、「カタツムリの殻で防汚構造（外壁材）」「ハスの葉から超撥水構造」「蛾（ガ）の目の構造から反射防止フィルム」「蚊の口から痛みを感じさせない極細注射針」などなど。日頃、便利に生活できているのは、このような自然の英知を学び開発された商品が多いことに關心させられます。近年、電子顕微鏡やナノテクノロジーの進化により、生物の「神秘のメカニズム」を分子レベルで解明、再現できるようになってきているので革新的な技術が次々と生まれようとしているのです。しかし、自然の営みは奥が深く簡単には真似ができないのも現実です。それは、生命の誕生は40億年、陸上の生物でも4億年の歴史といわれています。それに比べて我々、人類は数百万年しか存在していません。ですから古代より厳しい環境に適合して生きてきた生物の体の仕組みは、まだまだたくさんを生き抜いてきた生物の体の仕組みは、まだまだたくさんを機能やアイデアがあることでしよう。しかし、人類の環境破壊は大きな損失になると思っています。自然の生

ある生物に学ぶなけば、（でも、蚊に刺されたら本能的にバチン！としてしまいます）

## 関宿

伊藤 雅典 (製造部)



先日、亀山の関宿へ行ってきました。時々、雪がちらつく様な寒い日でしたが、江戸時代タイムスリップしたような体験をしてきました。この関宿は東海道五十三次の47番目の宿場町日本三関の一つ鈴鹿の関として、江戸時代には、参勤交代や伊勢参りの人々などで賑わいました。以前行ったことがある、馬籠・妻籠・奈良井宿などは中山道の宿場町ですが、旧東海道の宿場町は現在、ほとんど旧態をとどめていません。ここには江戸時代後期から明治時代にかけて建てられた町屋が200棟以上も現存し、国の重要伝統的建造物群保存地区（昭和59年選定）や日本の道百選（昭和61年選定）に選定されている貴重な宿場町です。馬籠・妻籠・奈良井宿は食べ歩き、お土産を買うことができます。そして観光地化されています。ここ関宿は建造物の保存地区であり住民の生活の場となっていることもあって昔ながらの狭い街道を生活者や車が行き来するのでちよつと違います。またホームページには歴史資料館などを除き、むやみに家の中をのぞかないでくださいと書かれています。飲食店が一軒、お土産が二軒ほどしかなかったと思います。昼食時には亀山といえ、ご当地グルメのみそ焼きうどん、B-1グランプリでも有名ですが、ご賞味させて頂きました。甘ったるいみそ味ではないですが、とにかく味が濃く妻は食べることができませんでした。寒い一日でしたが、楽しい史跡巡りが出来た。関インターから10分と気軽に行ける距離です。中々宿場町巡り・B級グルメ巡りもいいものです。



## 素敵なキツカケ

小原 龍一 (営業部)



先日、弊社のお取引先であるD社様より名古屋ドームで開催される「ドーム遊ぼうワールド」と題したお正月ファミリー向けイベントのご案内を頂きました。家内と6歳になる長男を引き連れ名古屋ドームへ家族3人で遊んできました。お正月もあって一般道も比較的に空いたので車でおよそ30分程度で会場に到着しました。風も冷たく足早に受付を終えてドーム内入ると大勢の子供連れのご家族で会場は埋め尽くされています。ドーム内に準備してあるアトラクションのスケールも大きく、エアードレスで作ったドーム3階席から滑る大迫力の大型滑り台は特にインパクトがありました。長男のお気に入りは「丸トランポリン」です。約30分待ちにもかかわらず3回並んで大はしゃぎしていました。トランポリンの周囲も網のネットが覆われているので飛び跳ねて転び落ちる心配もなく安心して見守って居られました。また足場パイプを用いて組み立てられた巨大立体迷路は歩く度に金属同士が「カチャ、カチャ」と、ぶつかり合う接合音が新鮮でした。迷路はスタンプリーが設けてあり、各階に一つずつ異なるスタンプリーが用意されています。これを指定時間内にすべてのスタンプリー収集してゴールすると景品が貰えます。ゲームの入り口付近でラリーカードを貰っていざスタート。コースは迷路だけあって行き止まりが多く、しばらくすると走り回る長男についていけず、見失ってしまいました。1Fから3Fまでゆっくり探し回りましたが見つからなかったのです。1Fの邪魔にならないコーナー付近で待ち伏せていました。しばらく待っていると真剣な顔で走りながらスタンプリーを探している長男の姿を発見しました。声をかけると「あと一つが見つかからない」と、真剣な顔で物事に取りかかっている姿が大変印象的で、子供の成長を感じ取れた瞬間でした。

